

## 活動は、「やってみせる」ことで紹介しよう!

食事の前に、布巾で食卓を拭く。その布巾を、シンクでさっと洗う、しぼる。大人にとっては、何気なくできる簡単な動作でも、子どもにはできないことがたくさんあります。そんなとき、「あー、まだ不器用だからできないんだ」と思いがちです。

でも、実は「不器用だからできない」のではなく、「やり方がわからないからできない」ことが多いもの。ここはひとつ、「やり方」を伝えてあげましょう。

ただ、お子さんは、今いろいろな動きを身につけている最中。言葉で「しっかりと持って！」とか、「ちゃんと押さえて！」などと指示しても、どう持つことが「しっかりと」した持ち方なのか、どう押さえることが「ちゃんと」しているのかがわからず、伝わらないことが多いのです。

そこでぜひ試していただきたいのが、モンテッソーリ教育で、「提示」と呼ぶ伝え方です。つまり、言って指示するのではなく、「やってみせる」ことによって、ものの持ち方や手の動かし方などを伝えようとする方法です。

今まで「うちの子にはできない」と決めつけていたことが、提示してあげること、意外できたりするかもしれません。きっと、お子さんを見直すいいチャンスになりますよ。



### 口で指示しているだけだと

大人の指示でよく使うのが、ちゃんと座る、しっかりと持つ、きちんと揃えるなど。でもこんな言葉では子どもはどいうすることかわからず、やるのが嫌になってしまいます。お母さんは良くてごっさり、ひどいときには怒り出します。



### やってみせてあげると

できなかったことができるようになる。子どもは自信と達成感で胸をふくらませます。お子さんを見直すきっかけとなり、優しく穏やかに接することができるようになります。家庭に笑顔と敬意と愛があふれます。